

# 渡島・檜山地方の気象

平成22年夏（6～8月）のまとめ（2010年）

函館海洋気象台  
平成22年10月4日

## ◎ 平成22年夏（6～8月）の天候 「高温・多雨・並照」

### 【気温】

3か月の平均気温は19.4～21.7℃で、平年差は+1.5～+2.7℃となり、すべての観測点で平年よりかなり高かった。

### 【降水量】

3か月の降水量合計は314.0～680.5mmで、平年比は83～141%となり、函館市川汲で平年より少なく、函館市美原・松前・上ノ国町石崎で平年並のほかは平年より多く、特に乙部町潮見では平年よりかなり多かった。

### 【日照時間】

3か月の日照時間合計は335.6～489.1時間で、平年比84～113%となり、函館市川汲・せたな町瀬棚・江差で平年より少なく、北斗で平年より多いほかは平年並だった。

## ◎ 月ごとの概況

### 【6月】「高温・並雨・多照」

この期間の天気は、低気圧や気圧の谷の影響で、ぐずついた天気の日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。下旬には、中国大陸から上空に暖気が流入した影響で、気温はかなり高く経過した。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より多かった。

### 【7月】「高温・多雨・寡照」

この期間の天気は、平年と比べてオホーツク海高気圧の勢力が弱く、南から湿った暖気が頻繁に流入した影響で、ぐずついた天気の日が多く、気温も流入した暖気の影響で平年よりかなり高く経過した。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

### 【8月】「高温・多雨・並照」

この期間の天気は周期的に変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇や雨の日もあり、大雨となった日もあった。また、太平洋高気圧の影響で、南から湿った暖気が頻繁に流入し、7月に続き気温は平年よりかなり高く経過した。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は日本海側は平年並～平年より少なく、そのほかは平年並～平年より多かった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における（6～8月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函館	21.6	2.7 (かなり高い)	359.5	103 (平年並)	489.1	103 (平年並)
江差	21.5	2.1 (かなり高い)	451.5	131 (多い)	410.4	84 (少ない)

(注) 表中平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来3位までの記録）

月	要素名	順位	地点名	観測値	これまでの記録	統計開始年
6月	6月における日最高気温の高い方から	1	函館	29.1°C 26日	29.1°C 1987年6月7日	1873年
	6月における日最高気温の高い方から	3	函館	28.9°C 28日	28.2°C 1978年6月26日	1873年
	6月における日最低気温の高い方から	1	函館	20.2°C 28日	18.9°C 1958年6月28日	1873年
	6月における日最低気温の高い方から	2	江差	19.7°C 28日	19.6°C 1958年6月28日	1941年
	6月における平均気温の高い方から	3	函館	17.6°C	17.5°C 1990年6月	1873年
	6月における平均気温の高い方から	3	江差	17.6°C	17.4°C 1984年6月	1941年
7月	7月における平均気温の高い方から	3	江差	22.2°C	22.1°C 1950年7月	1941年
8月	8月（統計開始から）における日最低気温の高い方から	1	函館	24.5°C 7日	24.4°C 2004年8月1日	1872年
	8月における日最低気温の高い方から	3	函館	24.3°C 31日	24.2°C 1994年8月31日	1872年
	8月における日最低気温の高い方から	2	江差	25.4°C 31日	25.3°C 1983年8月16日	1941年
	8月における平均気温の高い方から	2	函館	24.7°C	24.4°C 1999年8月	1872年
	8月における平均気温の高い方から	2	江差	24.8°C	24.8°C 1999年8月	1941年
	8月（統計開始から）における月最大24時間降水量	1	江差	184.0mm	182.5mm 1995年8月20日	1971年

○ 夏日、真夏日、不照、降水、霧及び雷の各日数

	夏日日数			真夏日日数			不照日数			降水日数			霧日数			雷日数		
	本年	平年差	昨年	本年	平年差	昨年	本年	平年差	昨年	本年	平年差	昨年	本年	平年差	昨年	本年	平年差	昨年
函館	57	+26	28	11	+8	0	9	-8	25	25	0	36	3	-4	7	7	+3	1
江差	49	+22	20	4	+2	0	14	-1	18	25	-1	36	10	×	2			

(注)：降水日数とは、日降水量が1mm以上の日数。

：各地点の平年差は、平年値（小数第1位）を四捨五入した整数値と本年との差。

：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

：×は平年値なし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

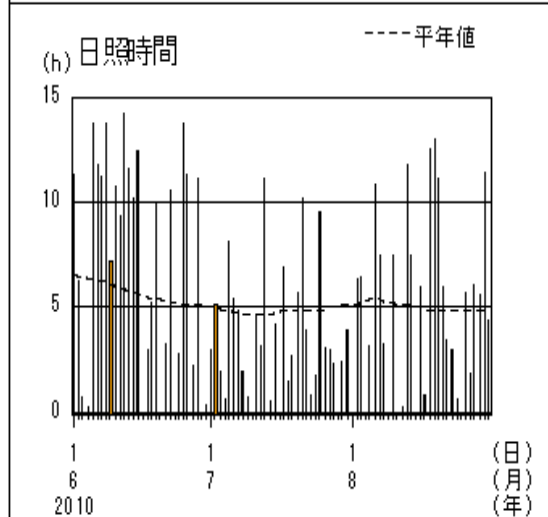
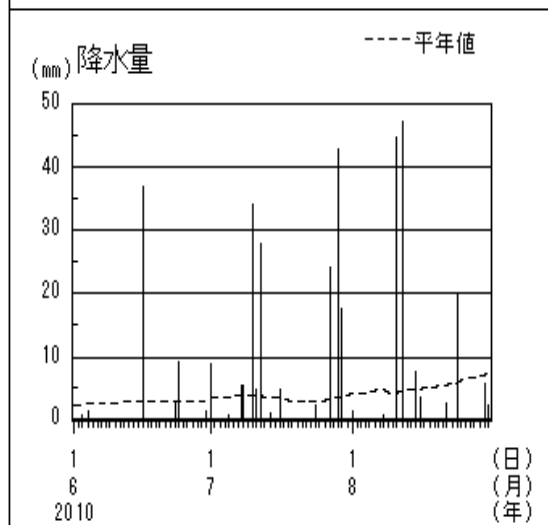
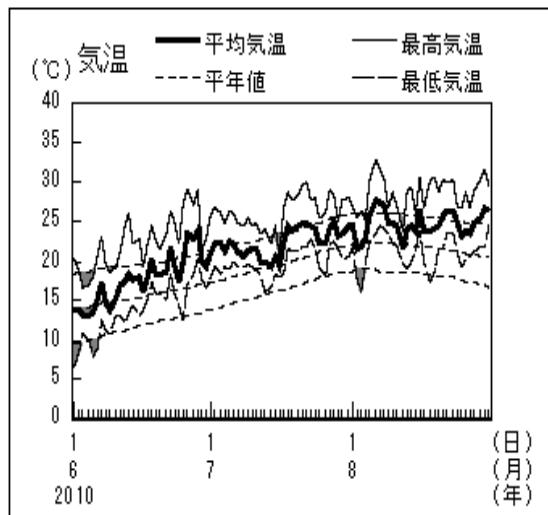
7月12日 【檜山地方】 強風害	06時青森の西海上にあった低気圧が東北東に進み、奥尻島では10m/sを超える強い風となった。 このため強風や海上のしけの影響により、奥尻町青苗港を06時頃出港した1人乗り漁船が入港予定時刻09時を過ぎても入港しない。海上保安署および僚船が捜索し船舶は後日発見されたが、現在も乗員1人が行方不明。
7月29日 【渡島地方】 【檜山地方】 洪水害 山がけ崩れ害 浸水害	低気圧が日本海を北東に進み、これに伴う寒冷前線が29日21時には渡島半島に達した。このため、渡島・檜山地方では暖かく湿った空気が流入し、大気の状態は非常に不安定となり、29日明け方から夕方にかけて激しい雨となった。 このため大雨の影響により、せたな町で床上浸水や床下浸水、上ノ国町・松前町・福島町で床下浸水の住家被害、せたな町・今金町・長万部町で耕地冠水や流失被害、せたな町・福島町・八雲町で水産施設浸水など水産被害、八雲町・森町・せたな町で治山施設浸水や林道破損など林業被害、国道・道道・町道など数か所で土砂崩れや土砂流出および落石等災害発生の危険性があるための通行止めや航空機欠航など交通障害が発生した。
8月1日～31日 【渡島地方】 酷暑害	8月、北海道付近では、太平洋高気圧の張り出しの中で、南から暖気が流入し気温の高い日が続いた。このため、8月6日に統計開始から日最高気温の高い方からの極値を函館市川汲・木古内などで、8月7日に統計開始から日最低気温の高い方からの極値を函館市美原・森・函館市川汲・函館空港などで更新した。 このため高温の影響により、渡島地方ではこの期間、熱中症で67人が病院に搬送され、家畜も高温のため日射病や熱射病になり、乳用牛16頭が死産となった。

<p>8月11日～12日</p> <p>【渡島地方】</p> <p>【檜山地方】</p> <p>浸水害</p> <p>山がけ崩れ害</p> <p>その他（雨害）</p>	<p>北海道付近には停滞前線があつて、台風第4号からの暖湿気により活発化しながら北海道を南下した。</p> <p>このため大雨や強雨の影響により、八雲町・森町・厚沢部町・乙部町・江差町で床上・床下浸水の住家被害、高速道路（道央道八雲IC～落部IC）・国道・道道・町道など数十か所で土砂崩れや道路冠水および落石等災害発生の危険性があるための通行止めやJR江差線・函館本線で一時不通など交通障害、奥尻町・せたな町・八雲町で断水による水道障害、江差町で停電による電力障害、八雲町・乙部町・せたな町で水産製品など漁業被害、八雲町・七飯町・森町・上ノ国町・乙部町・七飯町・せたな町で林道や治山施設など林業被害、内水氾濫等により農地が冠水し檜山地方を中心に八雲町・森町など農業被害が広範囲に発生した。</p>
--	--

◎ 気象経過図（平成22年夏）

地上気象：2010年6月1日-2010年8月31日

函館



江差

